



PIXELA CORPORATION

Feb. 2007

会社概要と事業概観

事業展開の状況

四半期決算概要

通期見通し

2007年9月期第1四半期決算のご説明

株式会社ピクセラ

証券コード: 6731

<http://www.pixela.co.jp/>

会社概要と主要製品

商号：株式会社ピクセラ
(英文：PIXELA CORPORATION)

設立：1982年 6月

拠点：大阪本社、東京支社

資本金：2,560百万円 (06/9末)

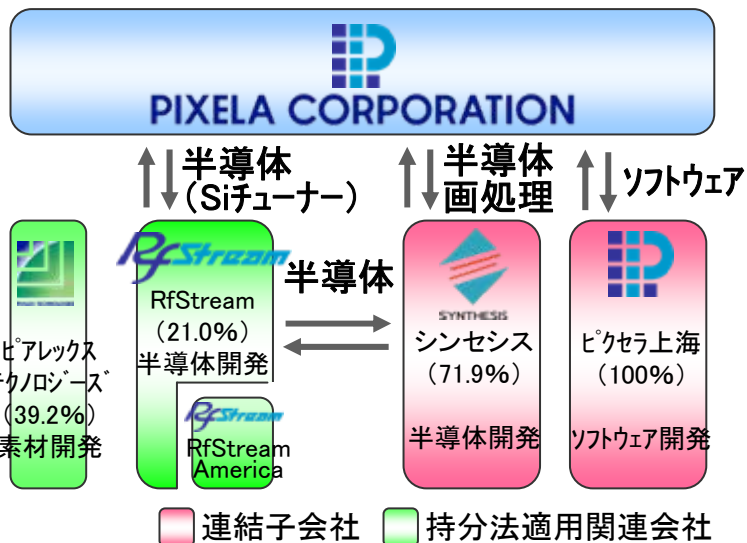
従業員数：224人 (06/9末、単体)

取引先：PC、電機メーカー等

関係会社：連結子会社 2社

持分法適用会社 3社

主要製品：

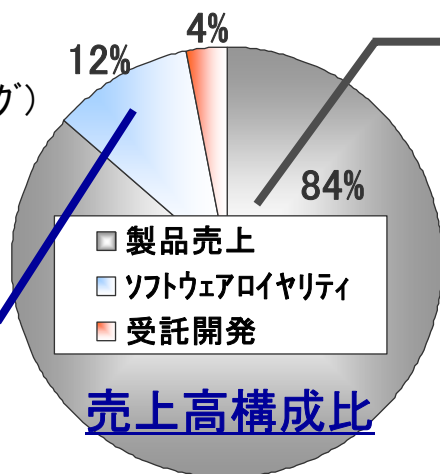


TV視聴アプリ

PC用 (デジタル・アナログ・ワンセグ)
モバイル用 (ワンセグ)



映像編集アプリ



OEM製品

PC用
TVキャプチャーボード



半導体



TV用組み込み地デジ受信ボード



モバイル機器

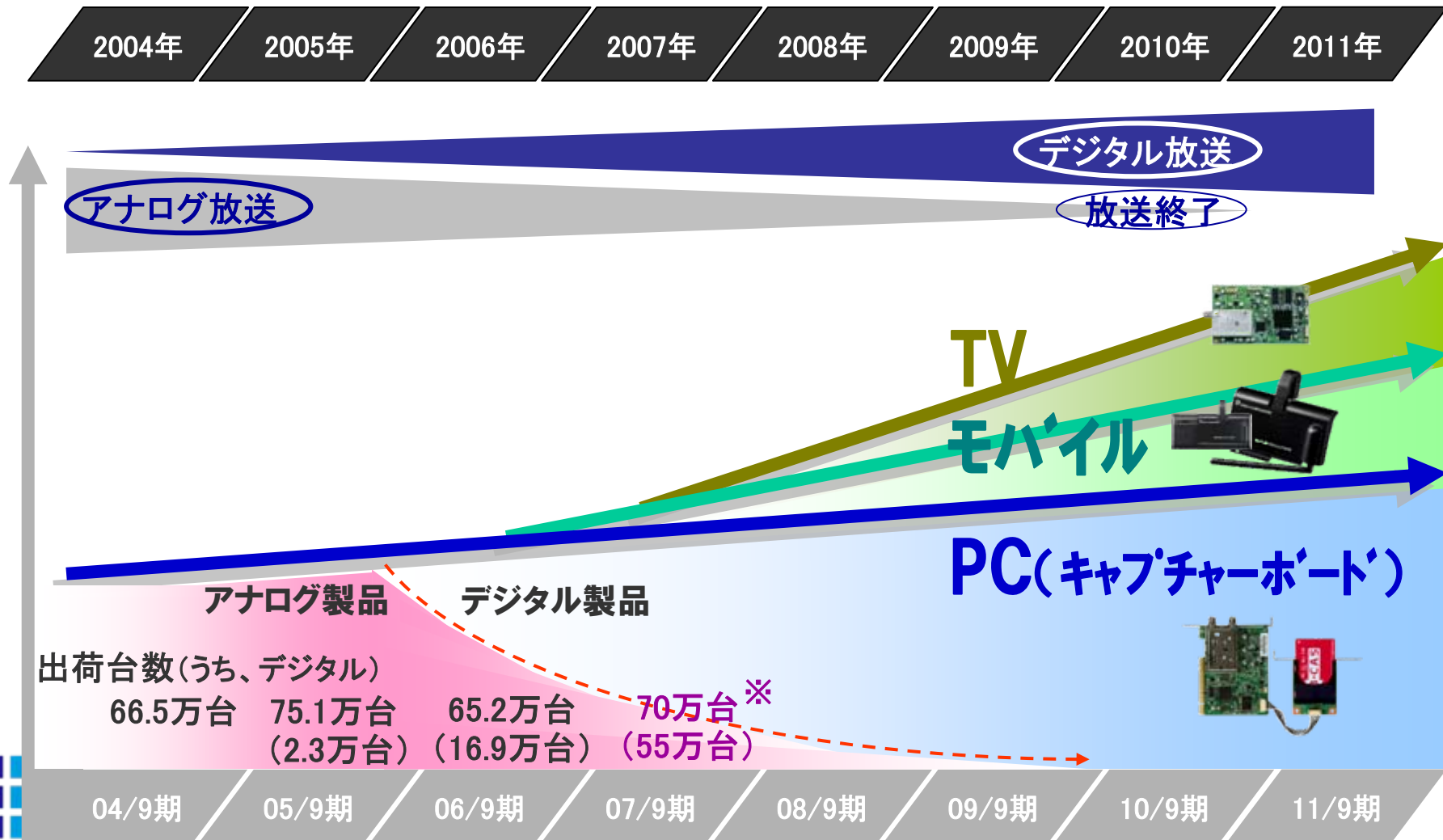


リテール製品その他



デジタル放送関連事業

テレビ放送の遷移とデジタル放送対応製品の展開



※07/9期の出荷台数は見通し



PIXELA CORPORATION

会社概要と事業概観

事業展開の状況

四半期決算概要

通期見通し



07年9月期第1四半期のトピックス

06年 10月 ソフトウェアプロダクトオブザイヤー受賞 (StationTV Digital)



組み込みTVボードを発表(量産開始は3月から)



2製品がグッドデザイン賞受賞 
(PCカード型ワンセグ受信機、DVDビデオディスク作成器)



(RfStream)ワンセグ対応シリコンチューナーTDJ1200サンプル出荷開始



11月 ワンセグ向け暗号化LSI (PIX-LD010)を開発



12月 ウィルコムW-ZERO3[es]専用ワンセグユニットを発売



PCカード型ワンセグ受信機をピクセラオンラインストアで一般発売



07年9月期第1四半期業績のポイント

◆製品売上

(キャプチャー製品)

□計画数量の大幅未達

・Vista影響が想定以上

□計画単価の維持

・計画単価維持

(半導体製品)

□数量の増加

・USBコントローラチップ好調

◆ソフトウェアロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

□計画数量の達成

□計画単価維持

(TVアプリ)

□計画数量未達

□計画単価の維持

	数量	単価
製品売上 (OEM製品)		
ソフトウェア ロイヤリティ		



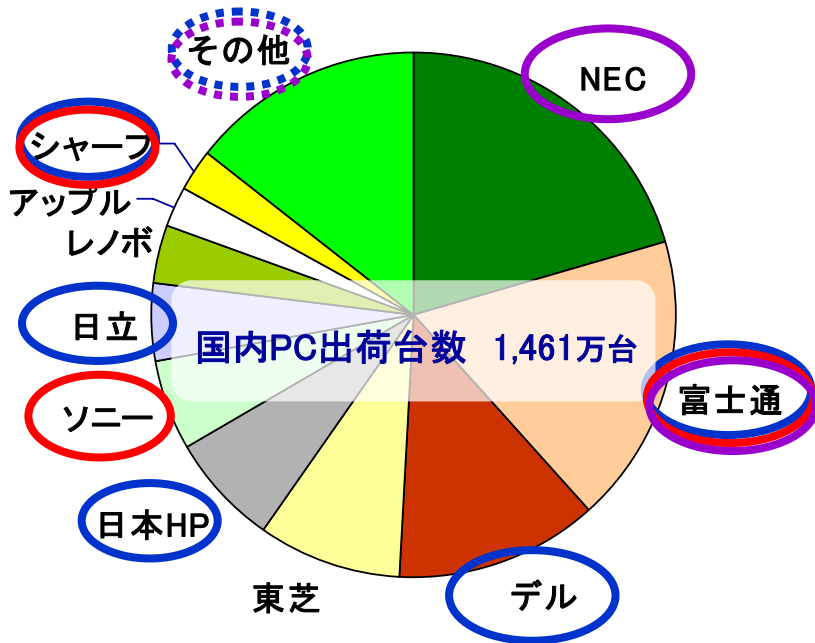
キャプチャーボードの状況

OEM供給先とデジタル化の状況

パソコンの国内出荷シェアの状況

【2005年】

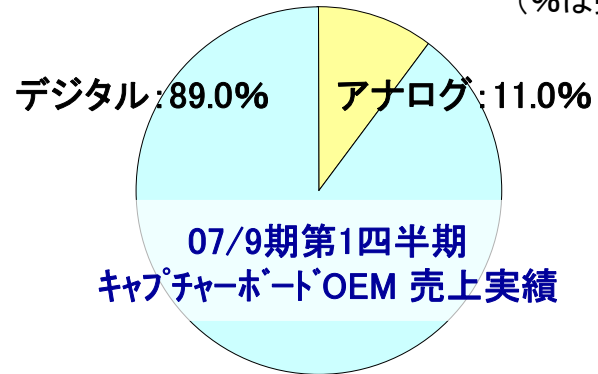
出展: IDC Japan



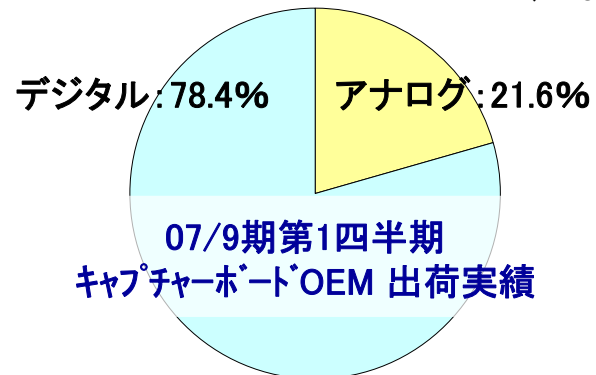
-  ピクセラOEM供給先(アナログ)
-  ピクセラOEM供給先(デジタル)
-  ピクセラOEM供給先(ワンセグ)

TVキャプチャーボードのデジ・アナ比率

(%は売上高比率)



(%は台数比率)

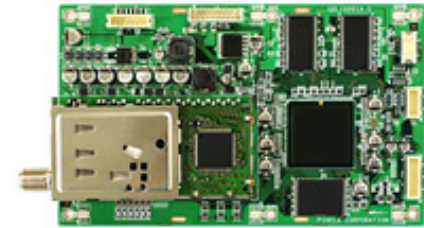


※ JEITA調べPC国内出荷台数 2006年: 1,233万台、2005年: 1,273万台

新規取り組み分野の状況

■TV用組込み地デジ受信ボード

量産出荷開始 07年3月予定



■モバイル機器

ウィルコムワンセグ 06年12月発売

ワンセグソリューション完成

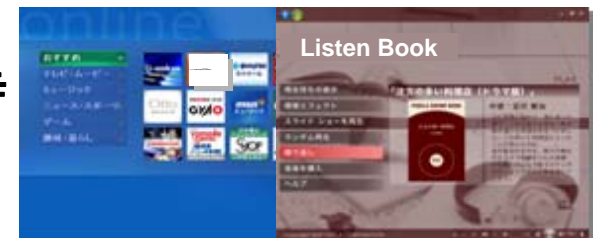
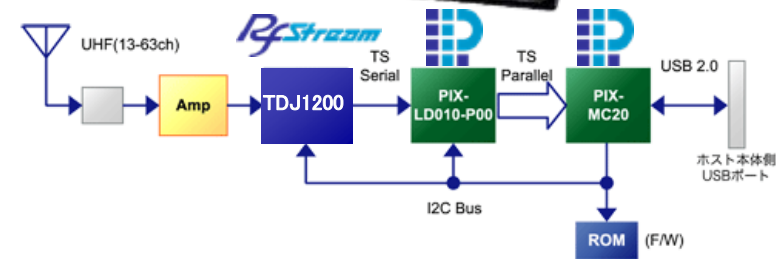
▶他のワンセグ製品開発に活用



■コンテンツビジネス

05年12月 ピクセラサウンドブック立ち上げ

▶Win Vista「メディアオンライン」内にオーディオブック専門ストアを展開 07年3月予定
当初100タイトルでスタート、1年後目標1,000タイトル
「ピクセラ」のブランド確立への大きな貢献を期待





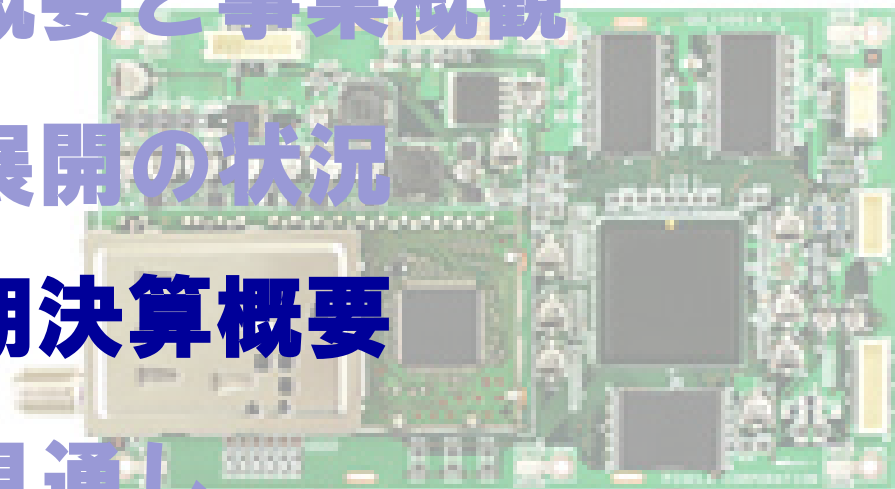
PIXELA CORPORATION

会社概要と事業概観

事業展開の状況

四半期決算概要

通期見通し



07年9月期第1四半期実績（連結）

（単位：百万円、％）

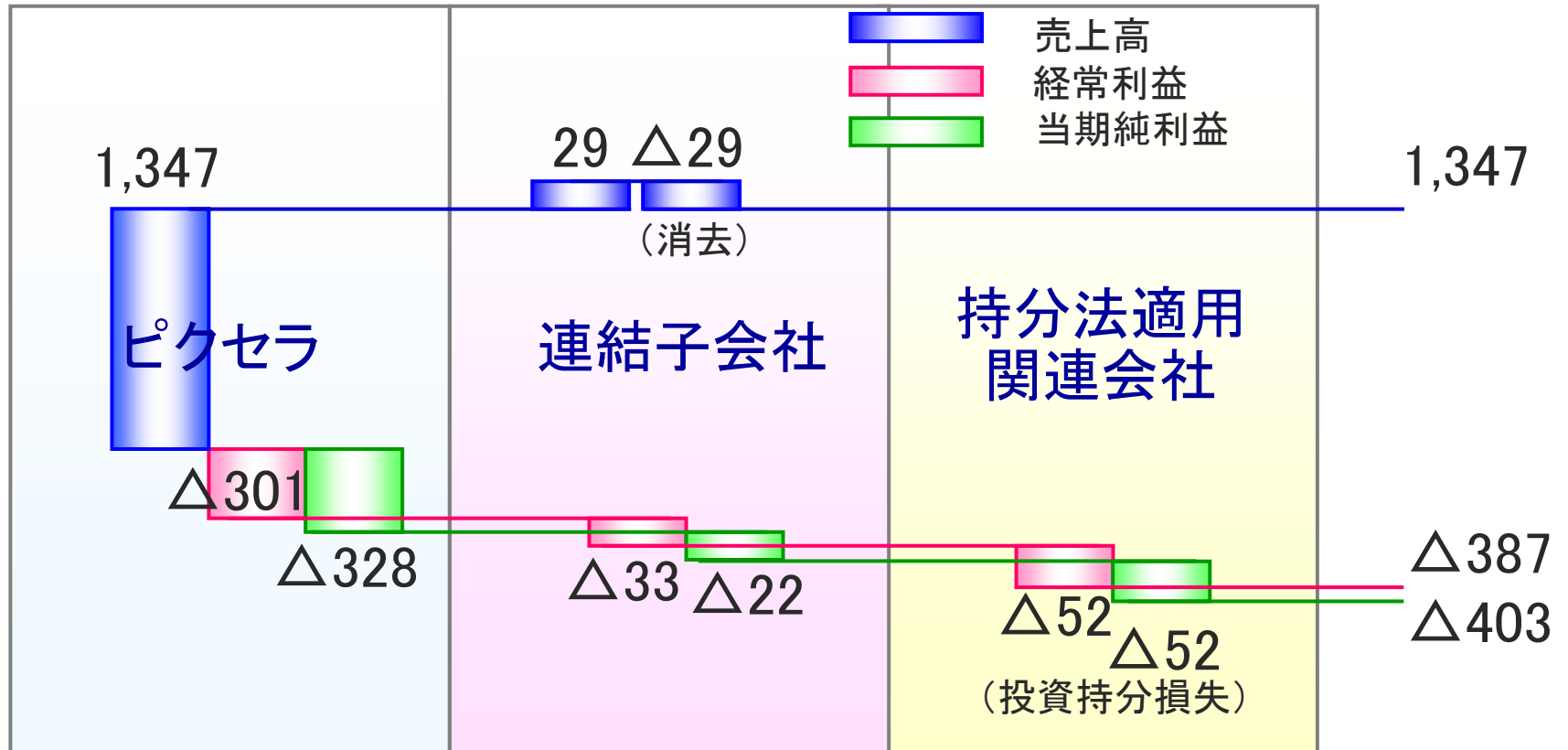
	06年9月期 Q1		07年9月期 Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	1,861	100.0	1,347	100.0	△513	72.4
売上総利益	367	19.8	262	19.5	△104	71.5
営業利益	△118	△6.4	△332	△24.7	△213	—
経常利益	△149	△8.0	△387	△28.8	△238	—
当期純利益	△159	△8.6	△403	△30.0	△244	—



07年9月期第1四半期実績（連結）

連結の状況

（単位：百万円）



ピクセラ上海（100%）
シンセシス（72%）

ピアレックス・テクノロジーズ（39%）
RfStream（21%）
（株RfStream、RfStream America Inc.）

※（ ）内の数字はピクセラの出資比率



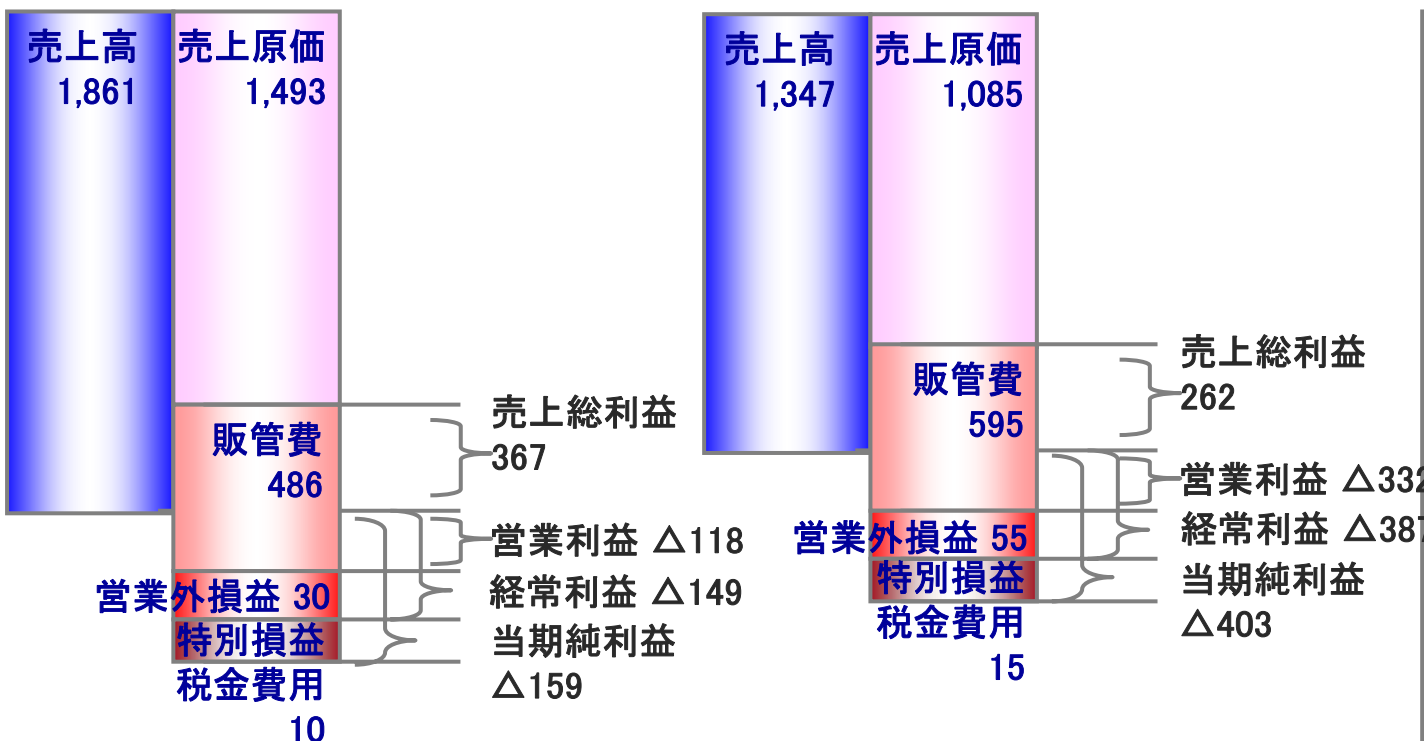
連結P/L実績と要因

(百万円)

06年9月期 Q1

07年9月期 Q1

増減要因



- ・売上高 $\Delta 513$
 ピクセラ大幅減 $\Delta 513$
 子会社売上高 $+29$
 内部取引消去 $\Delta 29$
- ・売上原価 $\Delta 408$
 Vista影響により、地デジ普及の数量効果を出せず、原価低減効果出せていない
- ・販管費 $+108$
 連結従業員数
 (前年同期235人 \rightarrow 今期264人)
 人件費増 $+9$
 研究開発費増 $+67$
 (ピクセラ: Vista対応等)
 (シセス: OFDM開発)
- ・営業外損益 $\Delta 25$
 為替差益減 $\Delta 17$
 投資持分損失増 $\Delta 5$



連結B/S実績と要因

(百万円)

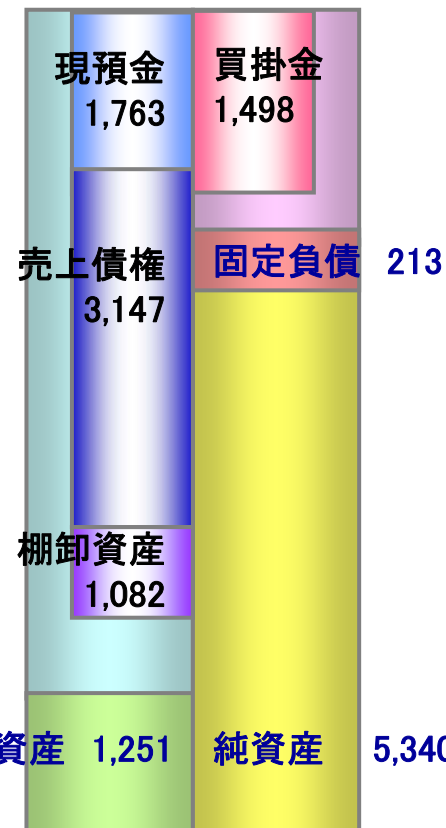
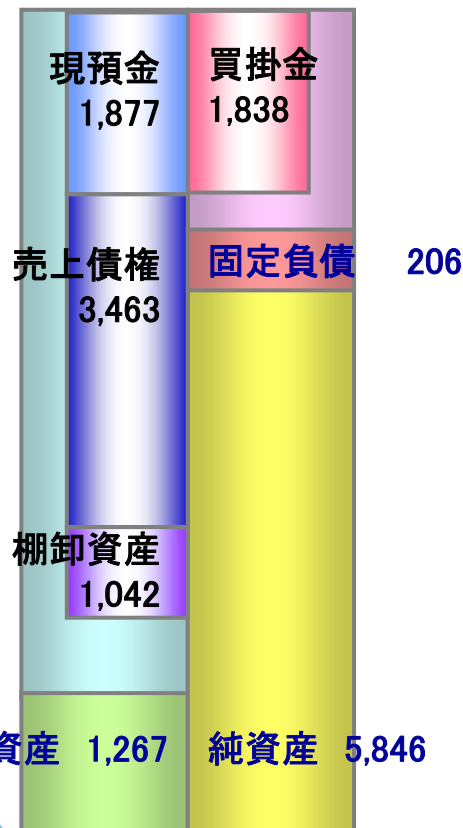
06年9月期

07年9月期 Q1

増減要因

流動資産 7,104 流動負債 2,318

流動資産 6,214 流動負債 1,912



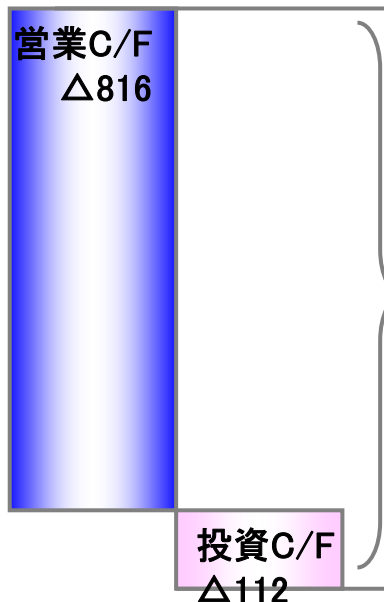
- ・ 現預金 $\Delta 114$
配当金支払による現預金残高減少 ($\Delta 102$)
- ・ 営業債権 $\Delta 315$
Vista影響による販売減のため売掛金残高減少
- ・ 棚卸資産 $+40$
前期に見込んでいた増量対応部材の消費が進んでいないため (今後消費予定あり)
- ・ 買掛金 $\Delta 340$
Vista影響による
- ・ 純資産 $\Delta 506$



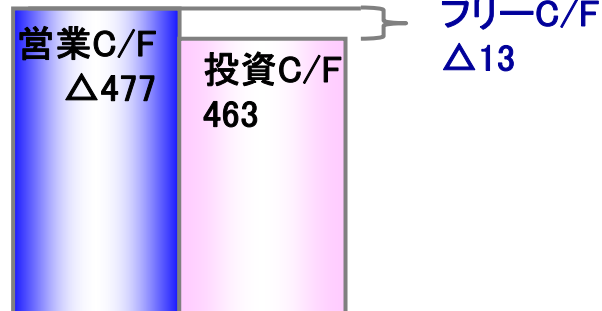
連結C/F実績と要因

(百万円)

06年9月期 Q1



07年9月期 Q1



増減要因

- ・ 営業C/F +339
税引前四半期純損失拡大
Vista影響により受注が減少したため、相対的に売上債権の回収が進展し、結果として営業C/Fが改善した
- ・ 投資C/F +575
有価証券の売却
ファブレスメーカーであるため有形固定資産の取得は少ない



07年9月期第1四半期実績（単体）

（単位：百万円、％）

	06年9月期 Q1		07年9月期 Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	1,861	100.0	1,347	100.0	△513	72.4
売上総利益	352	18.9	231	17.2	△120	65.7
営業利益	△128	△6.9	△300	△22.3	△172	—
経常利益	△111	△6.0	△301	△22.4	△190	—
当期純利益	△121	△6.5	△328	△24.4	△206	—



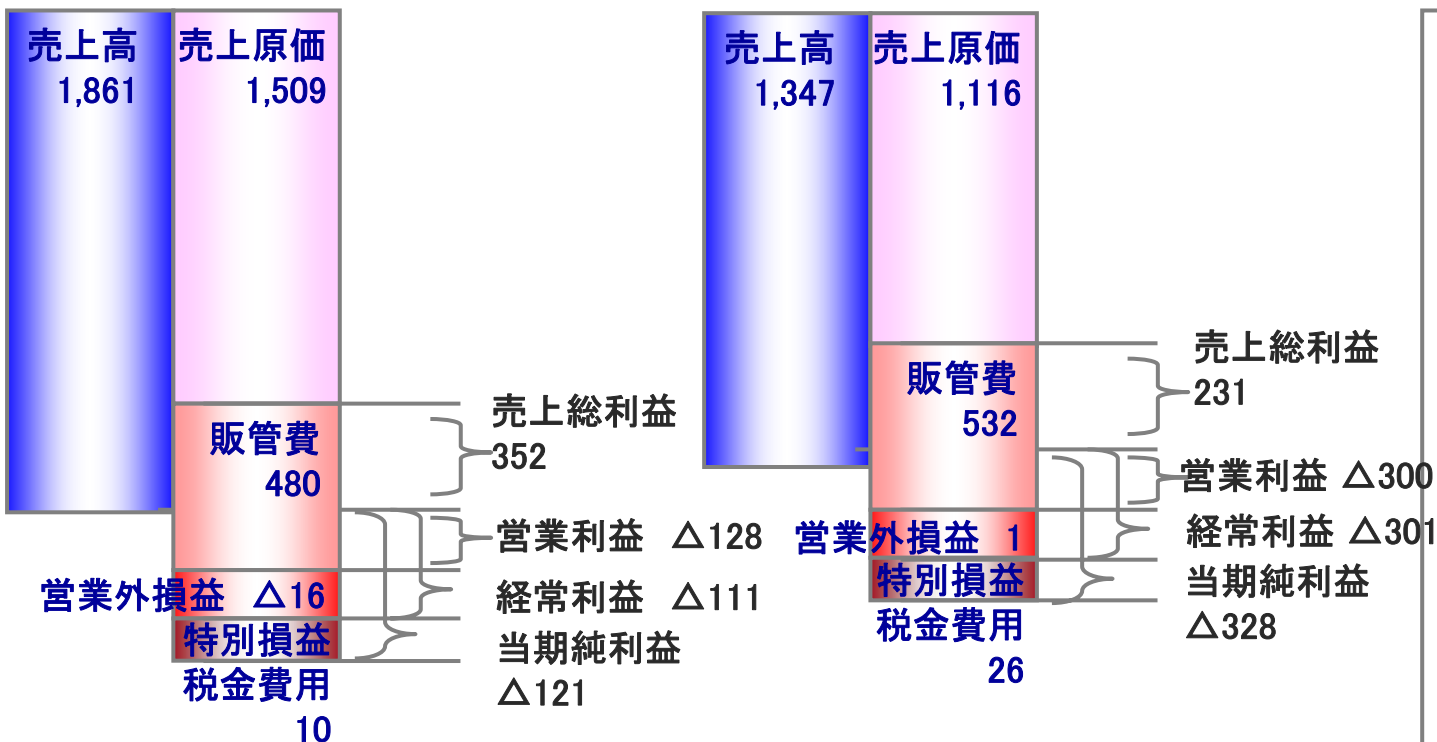
単体P/L実績と要因

(百万円)

06年9月期 Q1

07年9月期 Q1

増減要因



- ・ 売上高 $\Delta 513$
Vista影響によるキャプチャー製品の大幅な減収と、デジカメ用アプリオリティの減収(減収計画)
- ・ 売上原価 $\Delta 392$
Vista影響により、地デジ普及の数量効果を出せず、原価低減効果出せていない
- ・ 販管費 +51
(前年同期189人 → 今期220人)
人件費 $\Delta 9$
研究費 +40
広告・販促費等 +15



単体B/S実績と要因

(百万円)

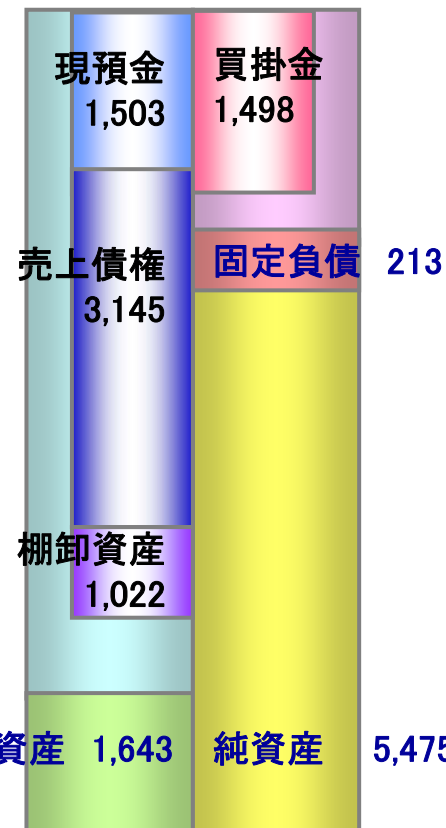
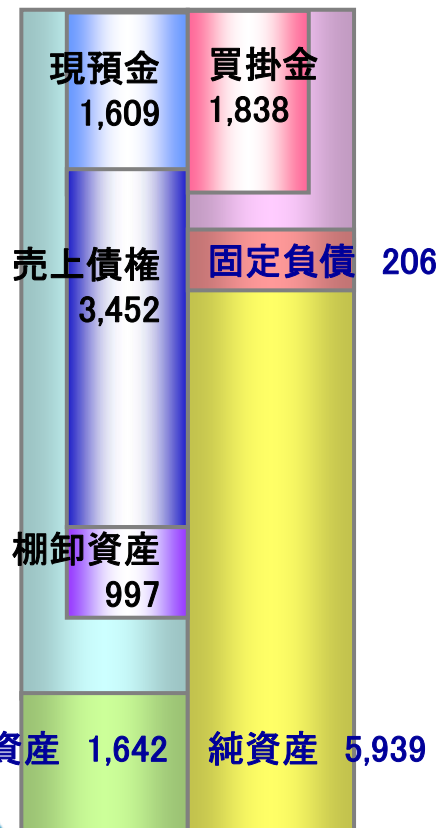
06年9月期

07年9月期 Q1

増減要因

流動資産 6,796 流動負債 2,292

流動資産 5,933 流動負債 1,887

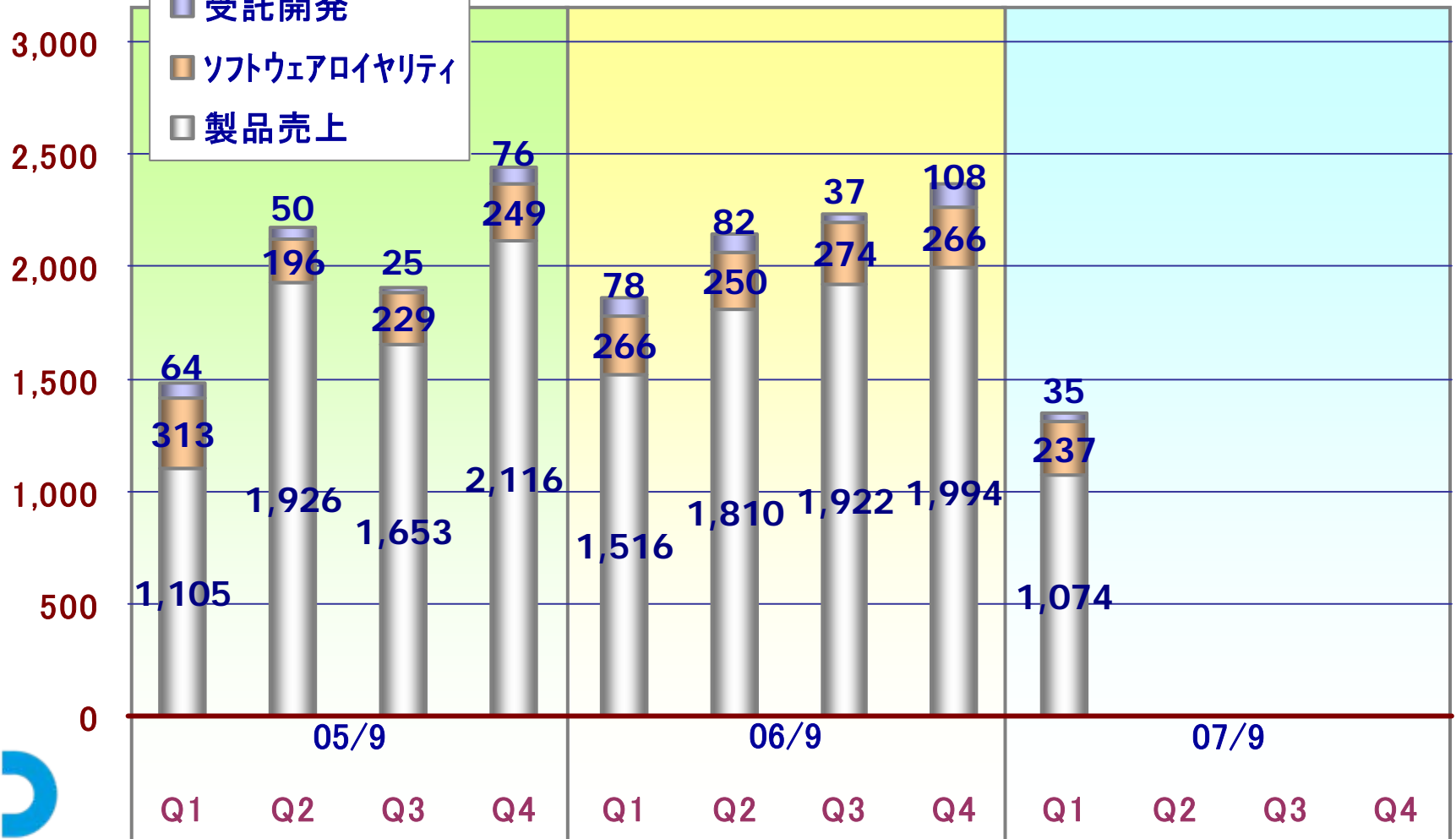
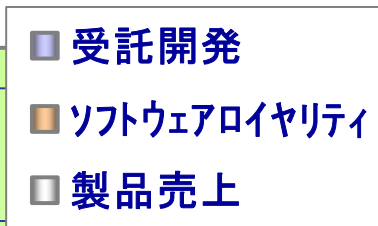


- ・ 現預金 $\Delta 106$
配当金支払による現預金残高減少 ($\Delta 102$)
- ・ 営業債権 $\Delta 306$
Vista影響による販売減のため売掛金残高減少
- ・ 棚卸資産 $+25$
前期に見込んでいた増量対応部材の消費が進んでいないため (今後消費予定あり)
- ・ 買掛金 $\Delta 340$
Vista影響による
- ・ 純資産 $\Delta 464$

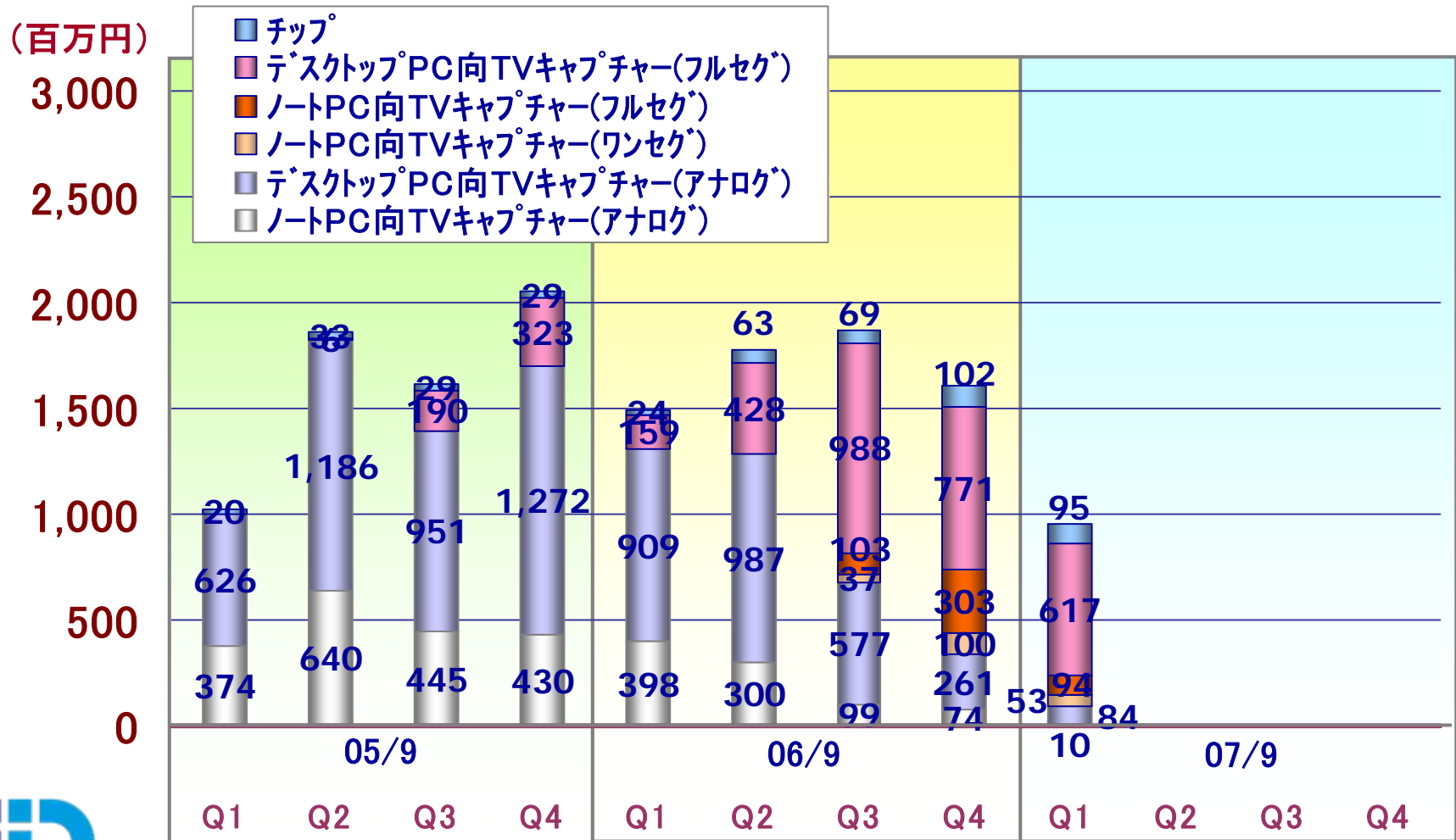


製品群別売上高推移(単体)

(百万円)



OEM製品別売上高推移(単体)

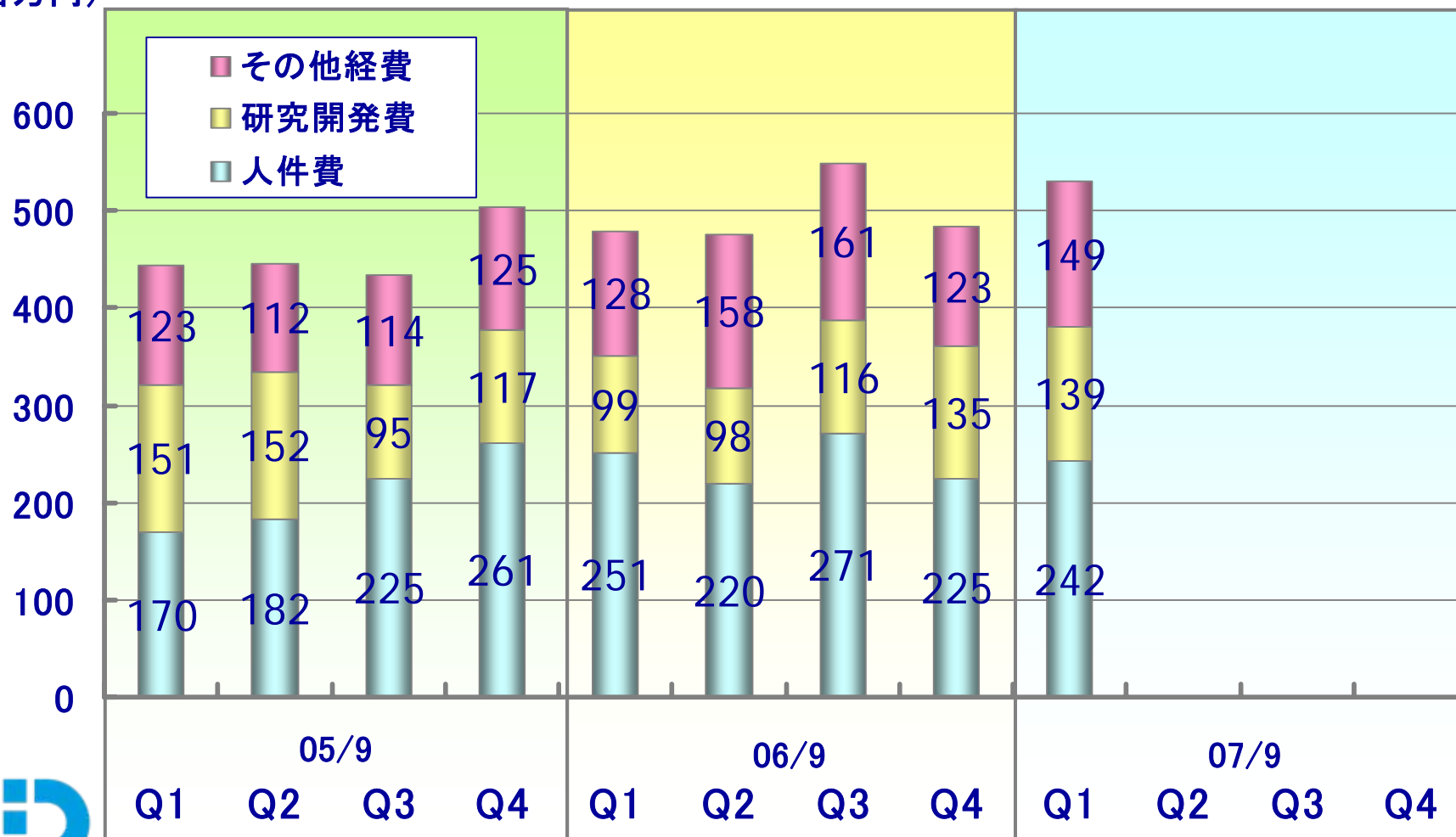


※ デスクトップPC向、ノートPC向とも、「フルセグ」にはデジ・アナ混載型製品を含んでいます
 ノートPC向(フルセグ)には、一部の薄型デスクトップPCを含んでいます



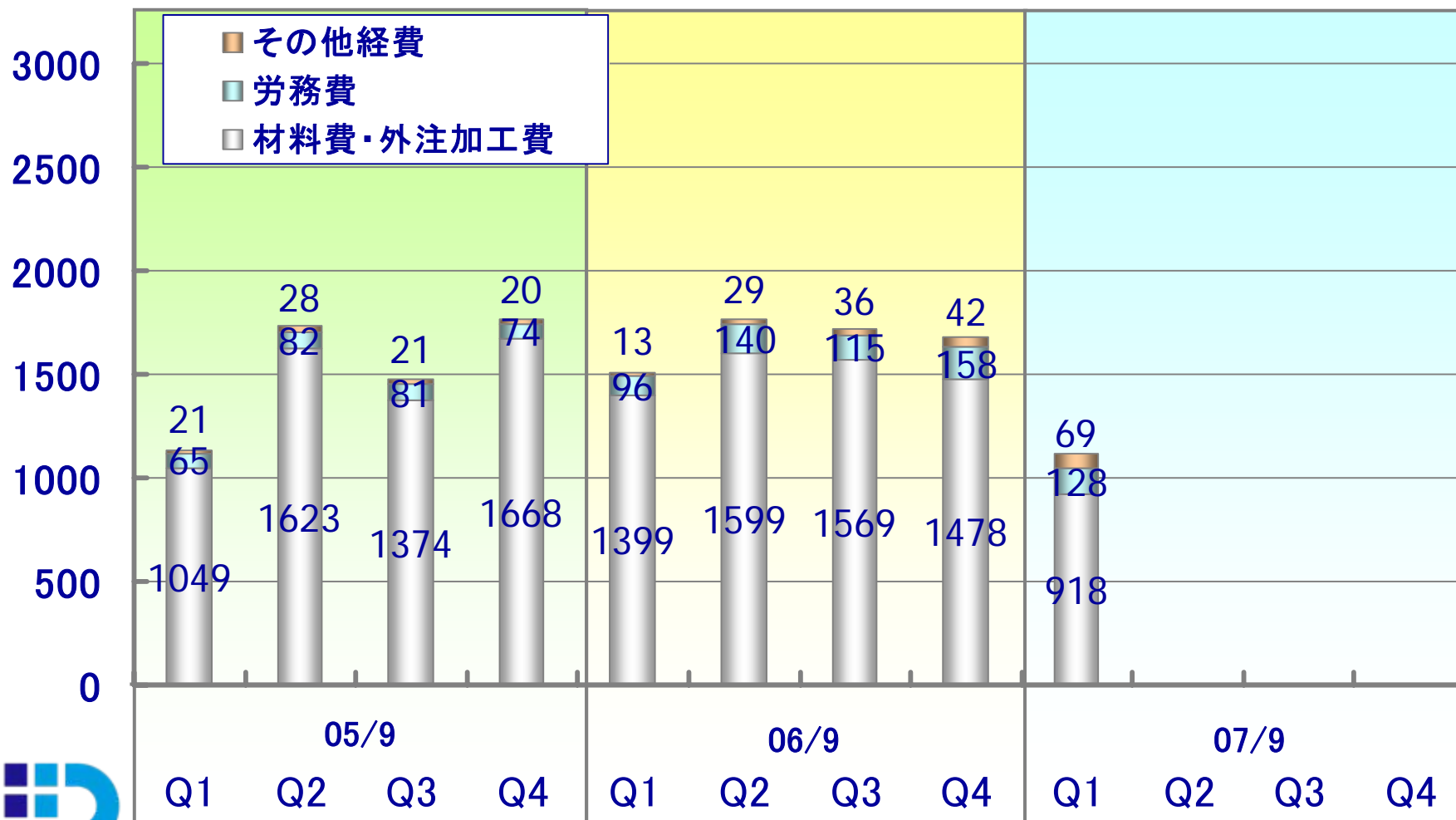
販管費の推移(単体)

(百万円)



原価の推移(単体)

(百万円)





PIXELA CORPORATION

会社概要と事業概観

事業展開の状況

四半期決算概要

通期見通し



2007年9月期見通し（連結）

（単位：百万円、％）

	2006年9月期		2007年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,623	100.0	12,191	100.0	3,567	141.4
売上総利益	1,956	22.7	2,767	22.7	811	141.5
営業利益	△323	△3.8	290	2.4	614	—
経常利益	△588	△6.8	285	2.3	873	—
当期純利益	△541	△6.3	129	1.1	670	—



2007年9月期見通し（単体）

（単位：百万円、％）

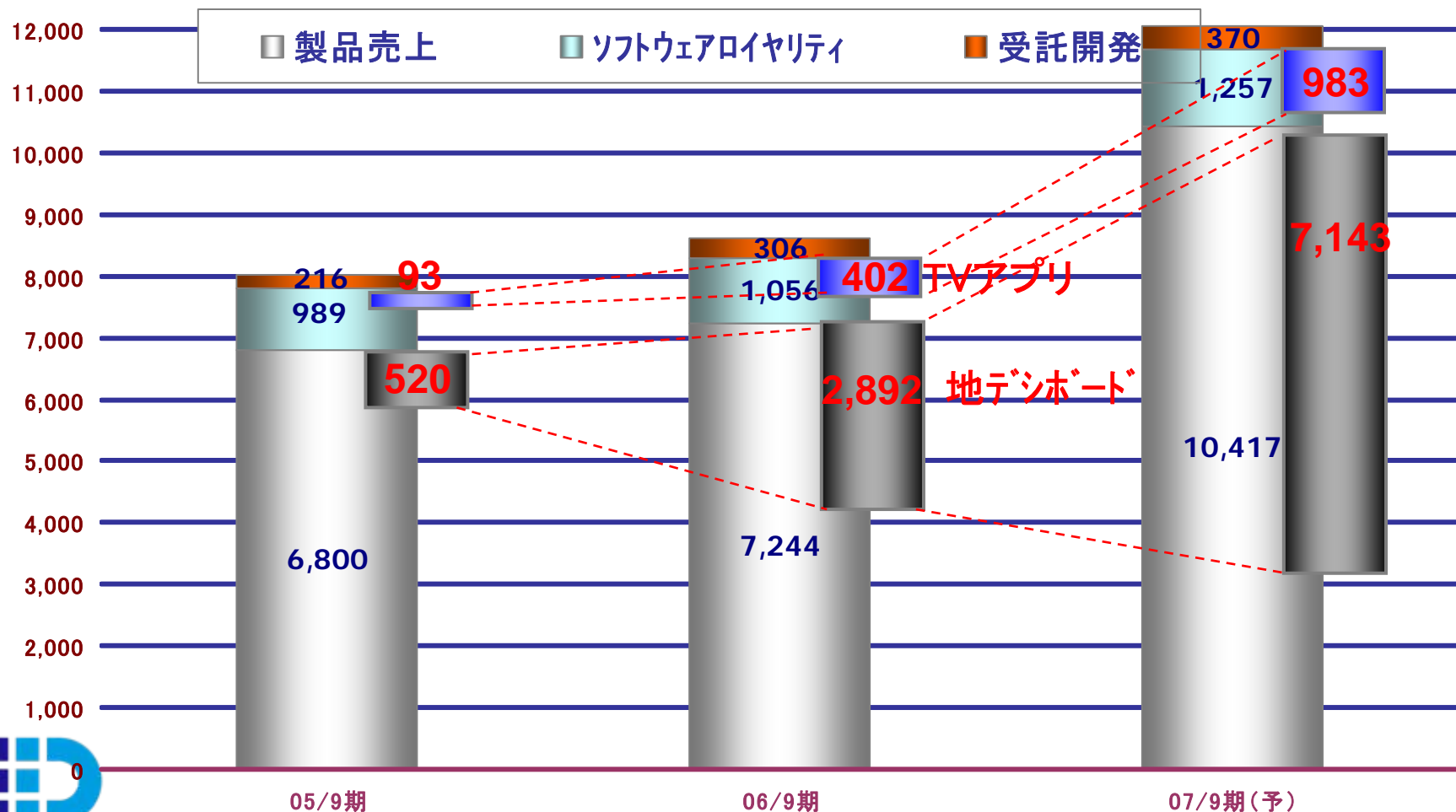
	2006年9月期		2007年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,607	100.0	12,045	100.0	3,437	139.9
売上総利益	1,928	22.4	2,694	22.4	766	139.8
営業利益	△62	△0.7	519	4.3	582	—
経常利益	△61	△0.7	501	4.2	563	—
当期純利益	△38	△0.4	282	2.3	320	—



売上高の見通し(単体)

【製品売上高構成推移】

(百万円)

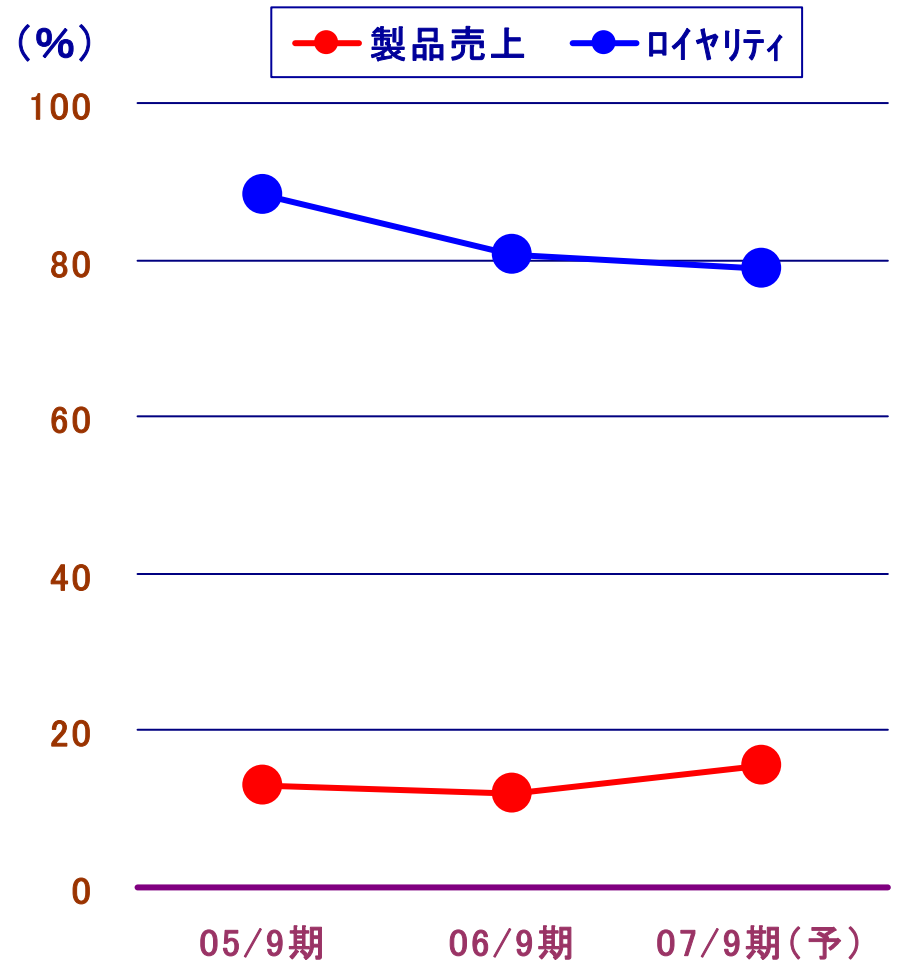


原価及び売上総利益率の見通し(単体)

【原価の推移】

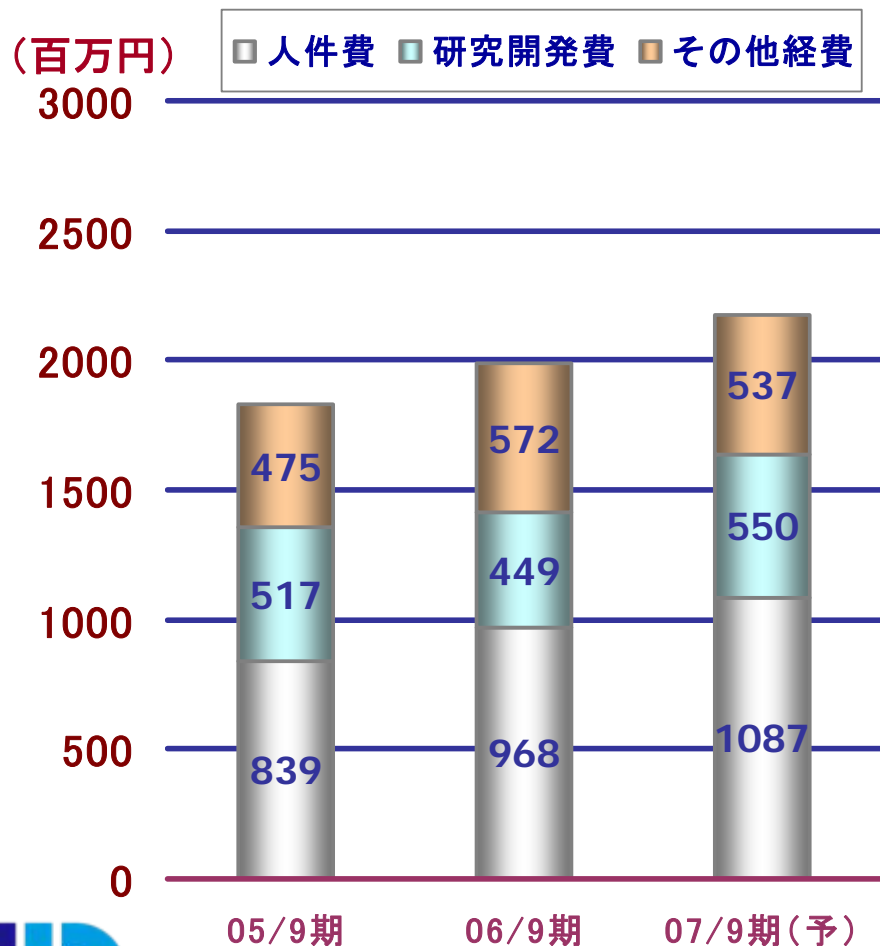


【売上総利益率の推移】

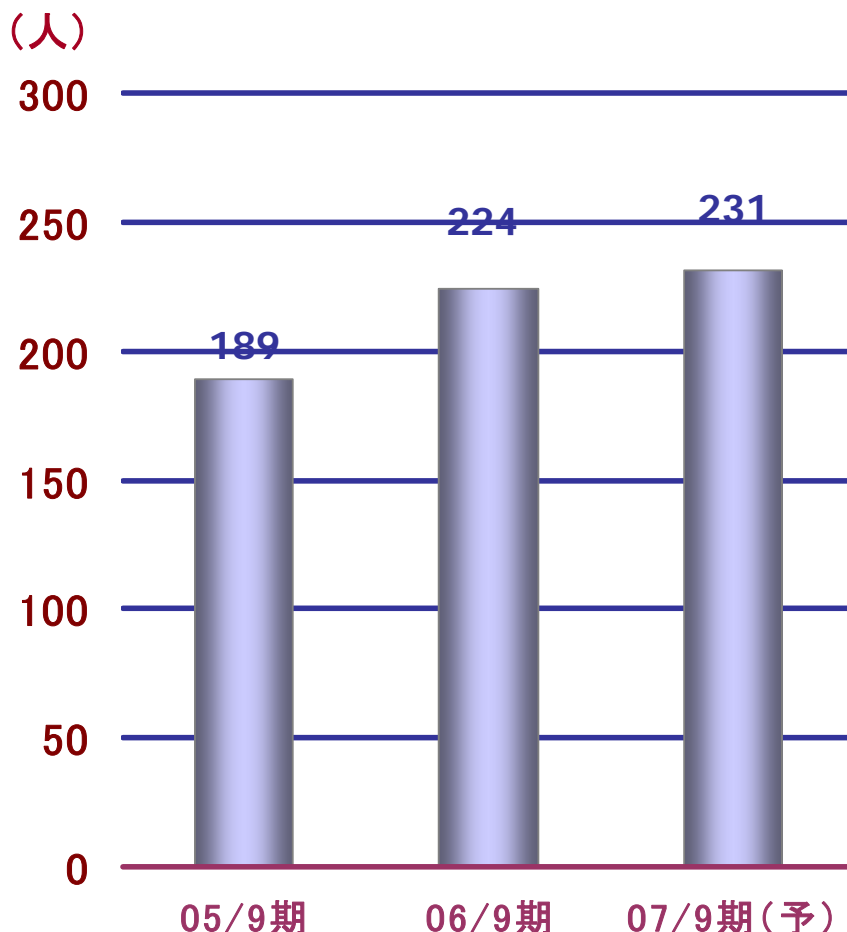


販管費及び人員計画の見通し(単体)

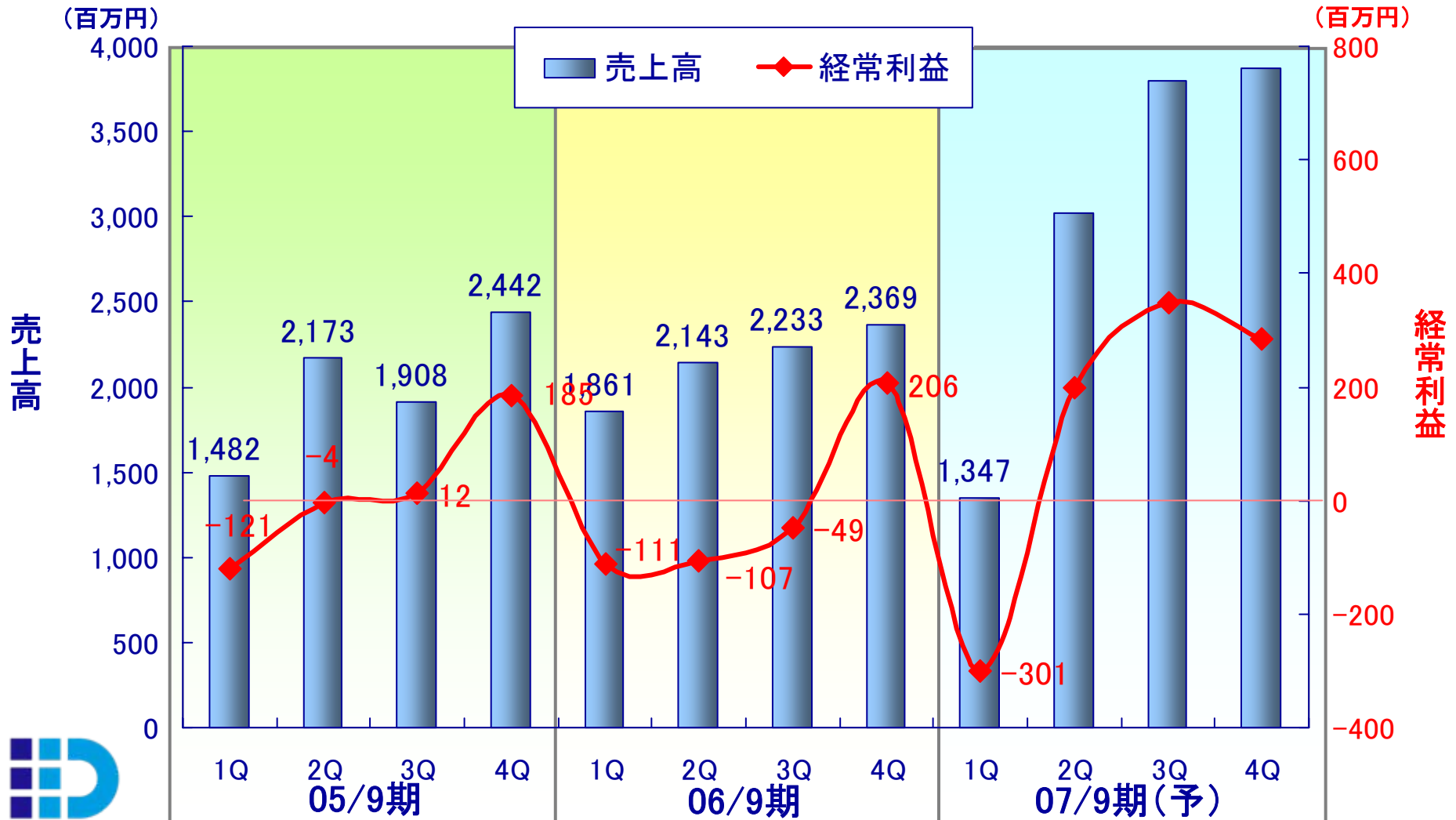
【販管費】



【人員数】



売上高・経常利益推移(単体)



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

